

平成23年度 市政世論調査結果報告書

概要版

はじめに

本市の市政世論調査は昭和45年に実施して以来、今回で42回目を迎えます。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居住意向について」「越谷市の環境について」「越谷の農業について」「住民基本台帳カードについて」「市税等の電子納付について」「住宅用火災警報器の設置について」「配偶者等からの暴力について」「『自治基本条例の普及』『市民参加と協働によるまちづくり』について」「広報について」「越谷市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の皆様の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進してまいりたいと考えております。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成23年11月

越谷市長 高橋 努

調査の概要

- ◆調査地域 越谷市内全域
- ◆調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- ◆対象者数 5,000人
- ◆抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆調査方法 郵送方法（郵送配布・郵送回収）
- ◆調査期間 平成23年6月23日～平成23年7月8日
- ◆回収結果 回収票数 2,467（49.34%）
有効票数 2,463（49.26%）
- ◆本調査報告書（概要版）の見方について
 - nは比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
 - 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
 - 比較可能なものについては、過去（H18以降）の調査結果も併せて掲載している。

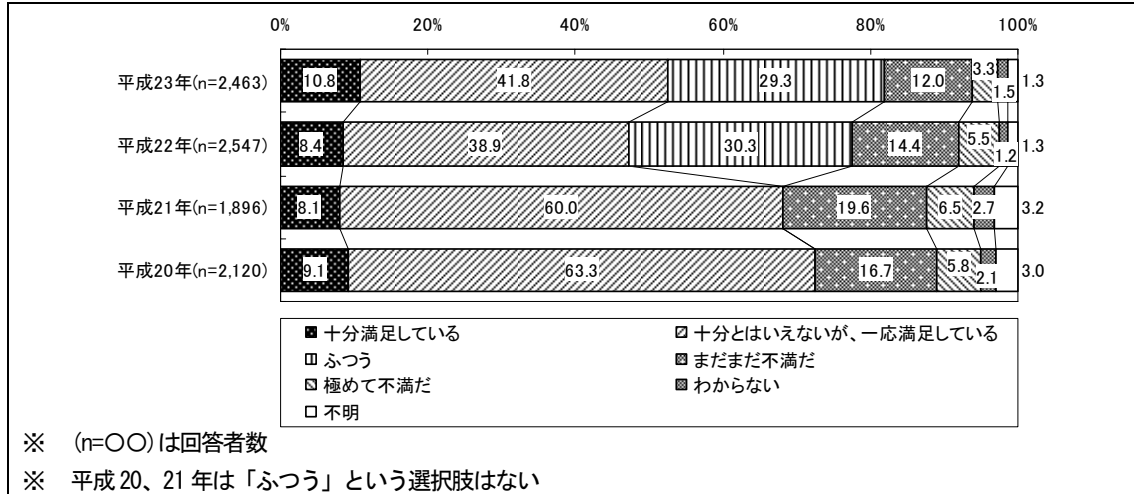
◇暮らしや居住意向について◇

●現在の暮らし向き

「十分とはいえないが、一応満足している」が多い

現在の暮らし向きについては、「十分とはいえないが、一応満足している」(41.8%)が最も多く約4割を占め、次いで「ふつう」(29.3%)が多くなっています。なお、「十分満足している」は、平成20年9.1%、平成21年8.1%、平成22年8.4%、今回調査では10.8%となっています。

問8. あなたは現在の暮らし向きについて、どのように思っていますか。

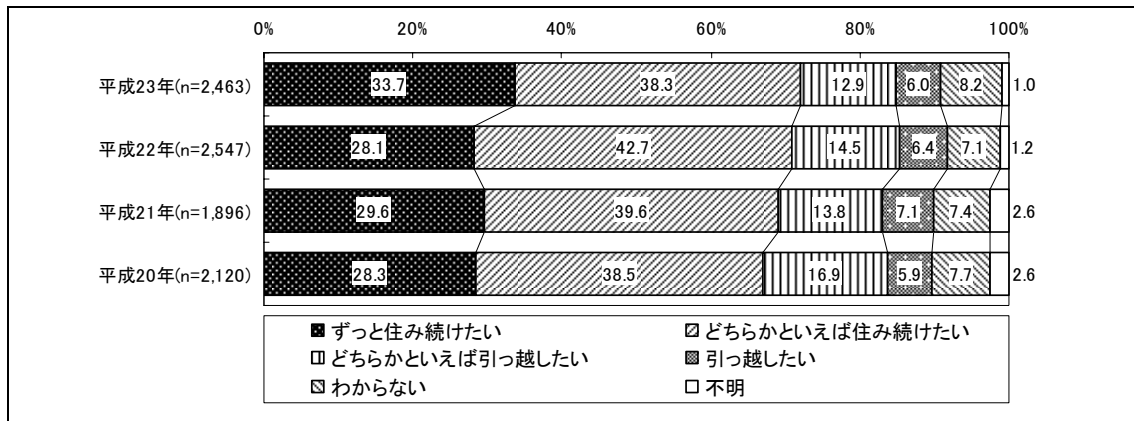


●今後の居住意向

「どちらかといえば住み続けたい」が多い

今後の居住意向については、「どちらかといえば住み続けたい」(38.3%)が最も多く、次いで、「ずっと住み続けたい」(33.7%)が多くなっています。住み続けたい人(「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計)の割合は、平成20年66.8%、平成21年69.2%、平成22年70.8%、今回調査では72.0%となっています。

問9. あなたは今後も、現在のところに住み続けたいと思いますか。



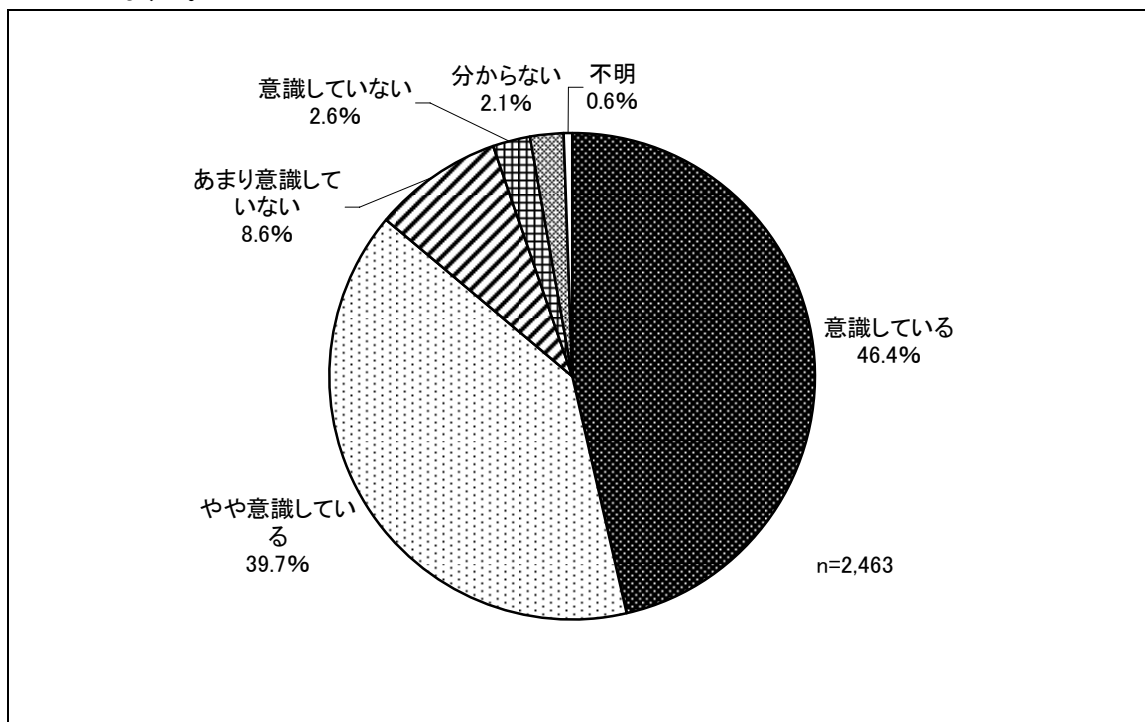
◇越谷市の環境について◇

●地球温暖化に対する意識

「意識している」が多い

地球温暖化に対する意識については、「意識している」が4割半ばとなっており、最も多くなっています。「意識している」と「やや意識している」の合計を『意識している』とすると、8割半ばが地球温暖化を意識していることが見受けられます。

問 10. 近年、地球温暖化が世界中で深刻な問題となっておりますが、あなたは地球温暖化を身近なこととして意識していますか。

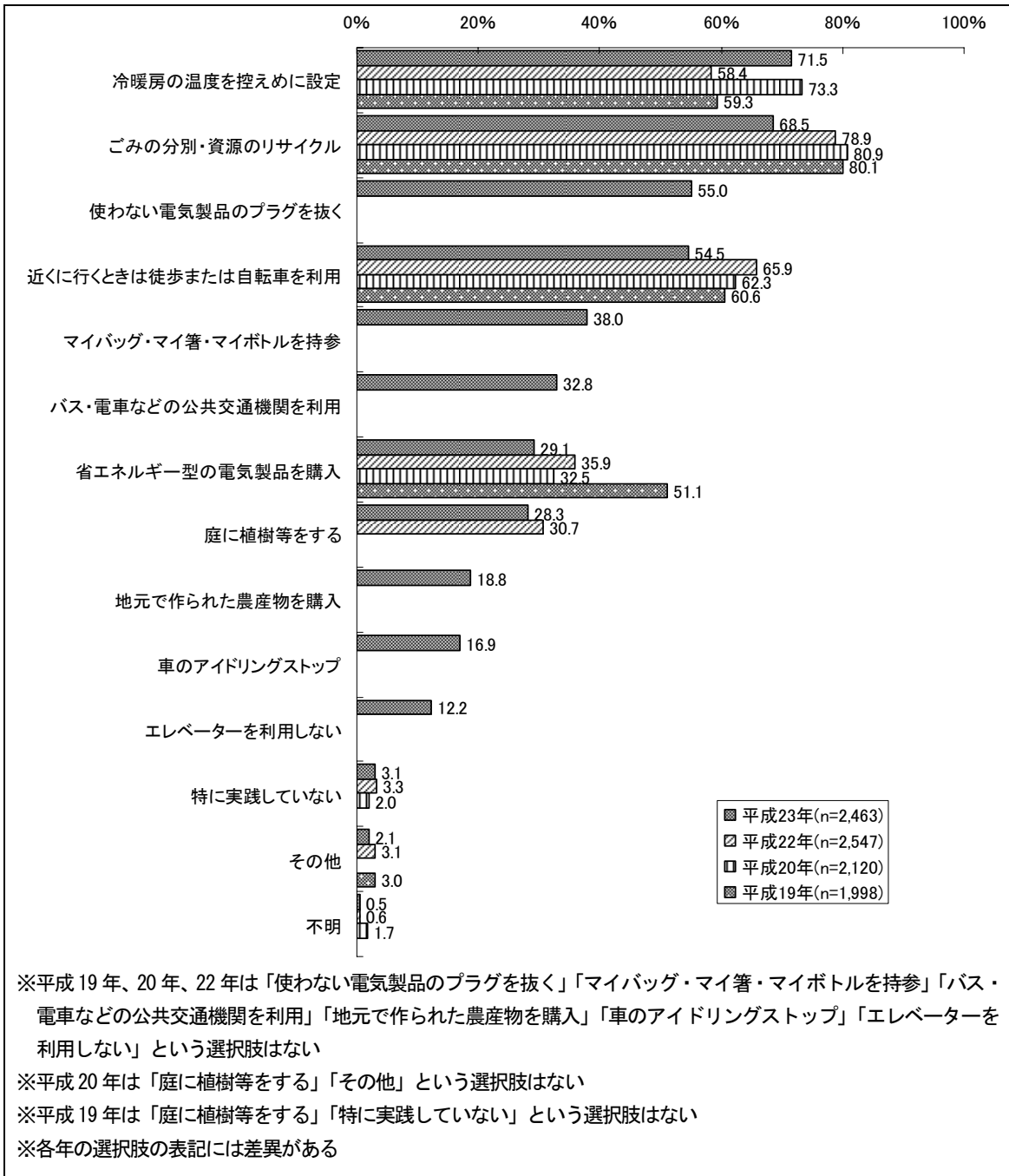


●地球温暖化対策

「冷房の温度を控えめに設定」が多い

地球温暖化対策として、日常生活において実践していることについては、「冷暖房の温度を控えめに設定」が7割を超えて最も多く、次いで「ごみの分別・資源のリサイクル」(68.5%)、「使わない電気製品のプラグを抜く」(55.0%)、「近くに行くときは徒歩または自転車を利用」(54.5%)などが続いています。「ごみの分別・資源のリサイクル」は平成19年、20年、22年で約8割となっていました、今回調査では7割弱に減っています。

問11. 地球温暖化対策として、現在あなたが日常生活において実践していることはありますか。



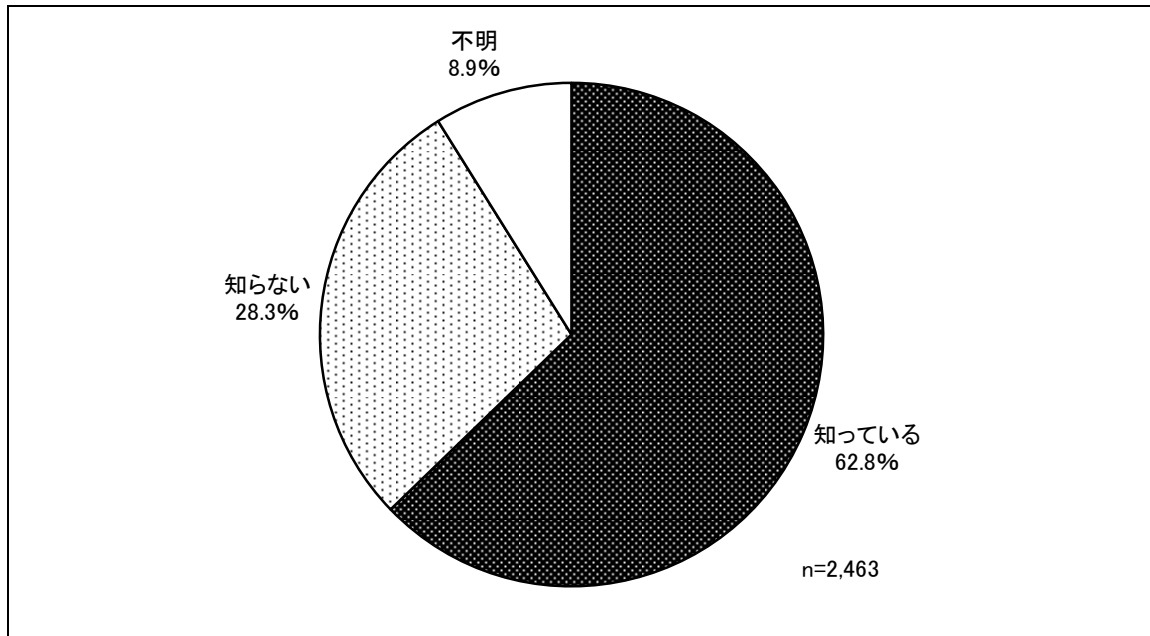
◇越谷の農業について◇

●越谷の農産物特産品の認知

「知っている」が多い

越谷の農産物特産品の認知については、6割以上が何らかの農産物特産品を「知っている」と回答しています。

問 15. 越谷の農産物特産品を知っていますか。

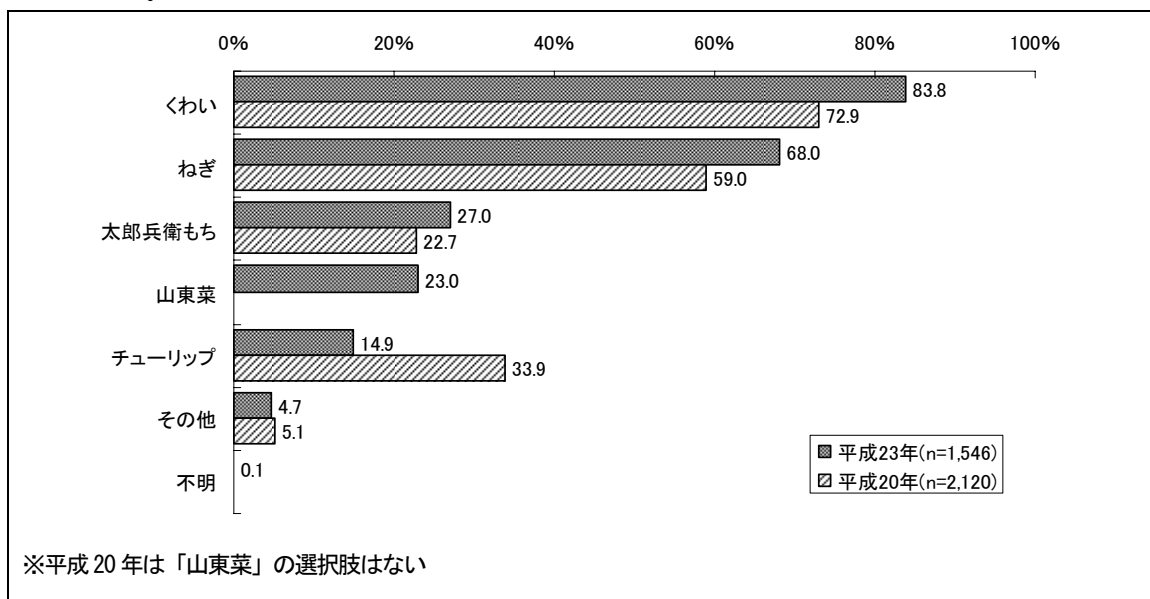


●認知している農産物特産品

「くわい」を認知している人が多い

認知している農産物特産品については、「くわい」が最も多く8割以上を占め、次いで「ねぎ」(68.0%)、「太郎兵衛もち」(27.0%)、「山東菜」(23.0%)となっています。「チューリップ」は平成20年で3割を超えていましたが、今回調査では1割半ばに減っています。

問 15-1. 問 15 で「1」と答えた方(知っていると答えた方)に伺います。どのような農産物特産品を知っていますか。

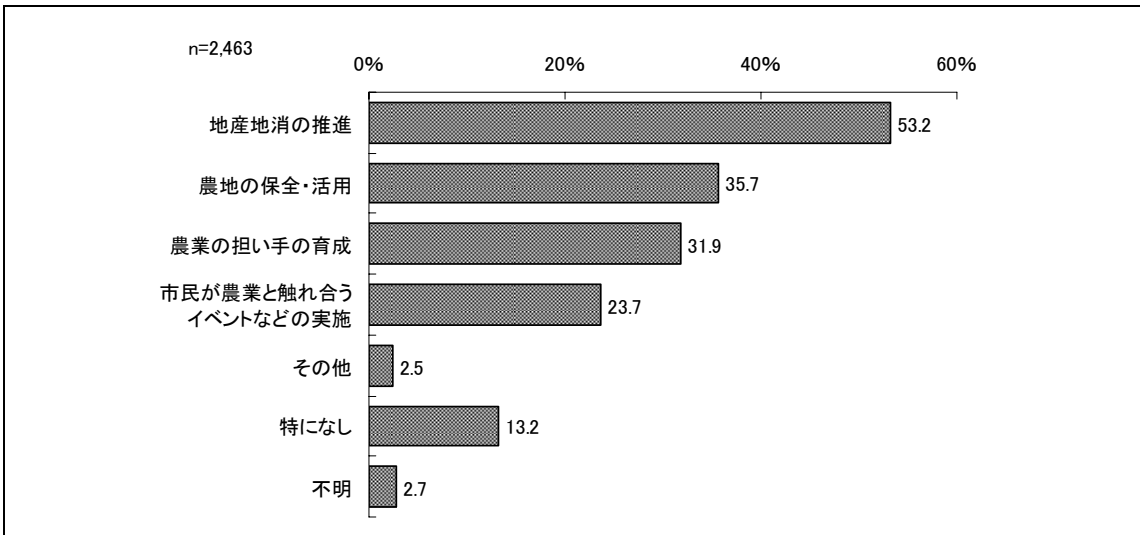


●取り組んでもらいたい市の農業政策

「地産地消の推進」が多い

今後、市の農業政策として取り組んでもらいたい事業については、「地産地消の推進」(53.2%)が最も多く、次いで「農地の保全・活用」(35.7%)、「農業の担い手の育成」(31.9%)、「市民が農業と触れ合うイベントなどの実施」(23.7%)となっています。

問 18. 今後、市の農業政策として具体的にどのような事業に取り組んでもらいたいですか。



◇住民基本台帳カードについて◇

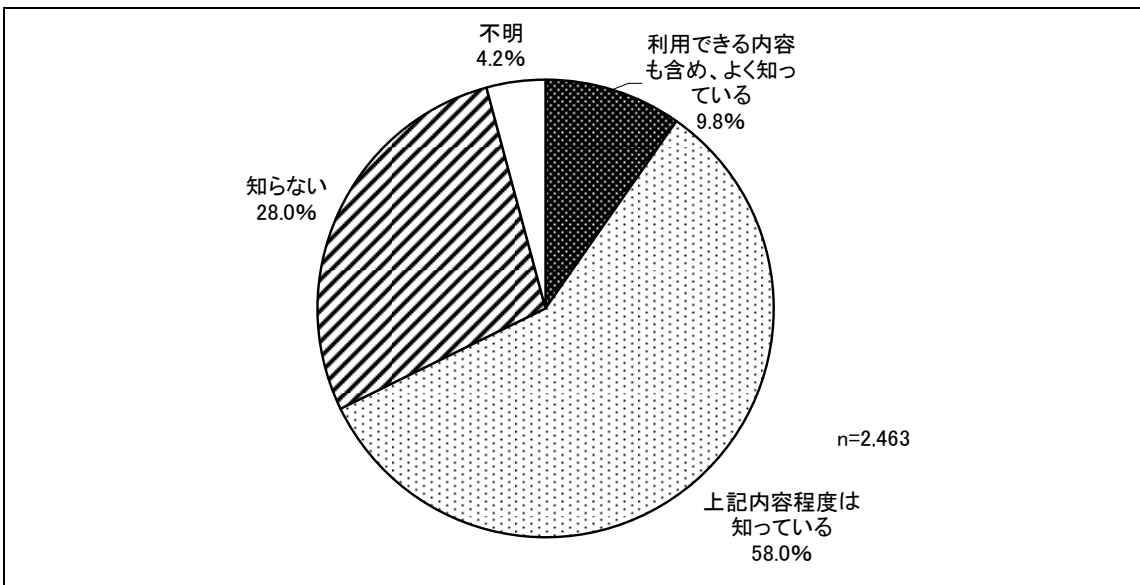
●住民基本台帳カードの認知

※住民基本台帳カードとは、氏名や住民票コード等が記録されたセキュリティに優れたICカードのことです。

「上記内容程度は知っている」が多い

住民基本台帳カードの認知については、「上記内容程度は知っている」が約6割で最も多く、次いで「知らない」(28.0%)、「利用できる内容も含め、よく知っている」(9.8%)となっています。

問 19. あなたは住民基本台帳カードを知っていますか。



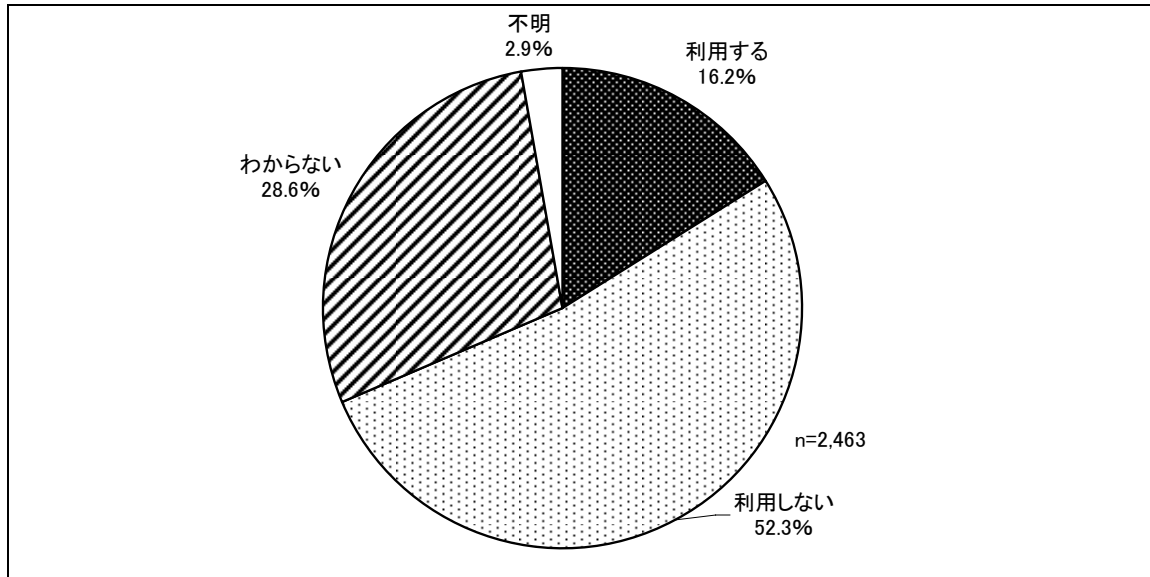
◇市税等の電子納付について◇

●パソコンや携帯電話を利用した市税等の納付

「利用しない」が多い

パソコンや携帯電話を利用した市税等の納付については、「利用しない」(52.3%)が最も多く、次いで「わからない」(28.6%)、「利用する」(16.2%)となっています。

問 22. パソコンや携帯電話を利用して市税等が納付できるようになった場合、あなたは利用しますか。

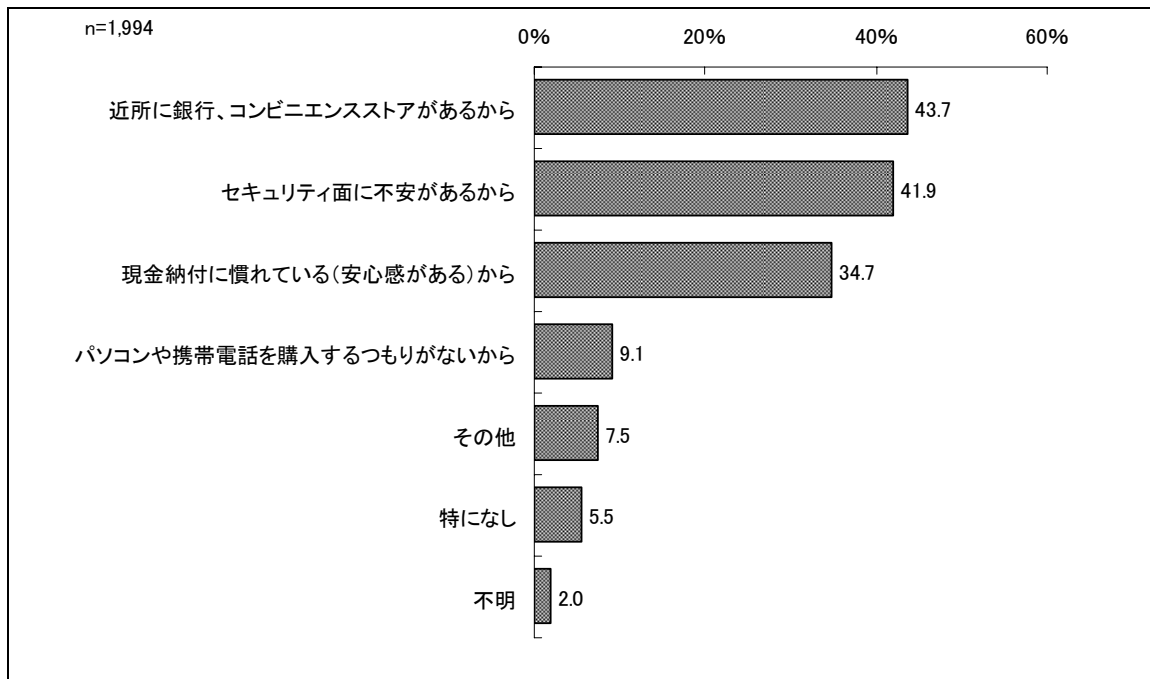


●パソコンや携帯電話を利用した市税等の納付を利用しない理由

「近所に銀行、コンビニエンスストアがあるから」「セキュリティ面に不安があるから」が多い

パソコンや携帯電話を利用した市税等の納付を利用しない理由については、「近所に銀行、コンビニエンスストアがあるから」(43.7%)が最も多く、次いで「セキュリティ面に不安があるから」(41.9%)、「現金納付に慣れている(安心感がある)から」(34.7%)となっています。

問 22-1. 問 22 で「2」または「3」と答えた方(利用しない、またはわからないと答えた方)に伺います。利用しない(わからない)理由を次の中から選んでください。



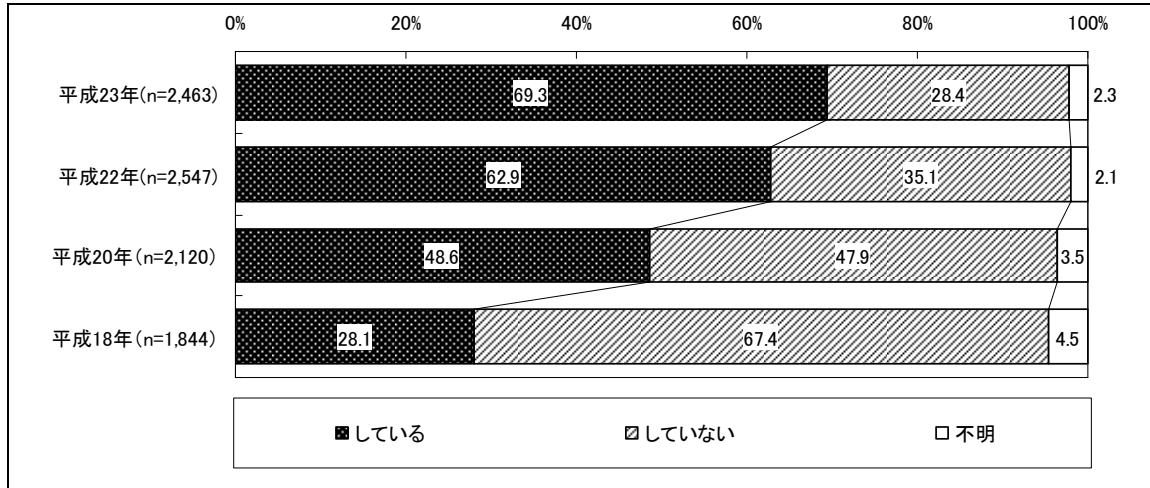
◇住宅用火災警報器の設置について◇

●住宅用火災警報器の設置状況

「設置している」が多い

住宅用火災警報器の設置については、「している」が約7割を占めて多く、前回より6.4ポイント増えています。一方、「していない」(28.4%)は3割を切り、前回より6.7ポイント減っています。

問 23. お住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。



◇配偶者等からの暴力について◇

●配偶者・パートナー・恋人からされた行為

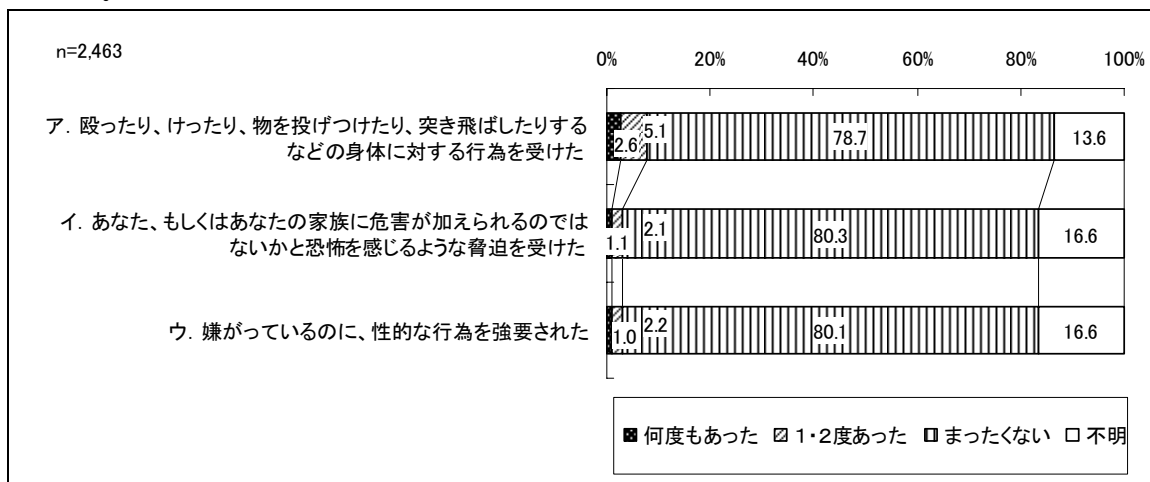
どの項目に関しても「まったくない」が多い

配偶者・パートナー・恋人から殴ったり、けったりなどの身体に対する行為を受けたかについては、「まったくない」が8割弱と最も多く、次いで「1・2度あった」(5.1%)、「何度もあった」(2.6%)となっています。

また、恐怖を感じるような脅迫を受けたかについても、「まったくない」が約8割と最も多く、次いで、「1・2度あった」(2.1%)、「何どもあった」(1.1%)となっています。

さらに、嫌がっているのに、性的な行為を強要されたかについても「まったくない」が約8割と最も多く、次いで、「1・2度あった」(2.2%)、「何どもあった」(1.0%)となっています。

問 24. あなたは、これまでにあなたの配偶者・パートナー・恋人よりアからウのような行為をされたことがありますか。

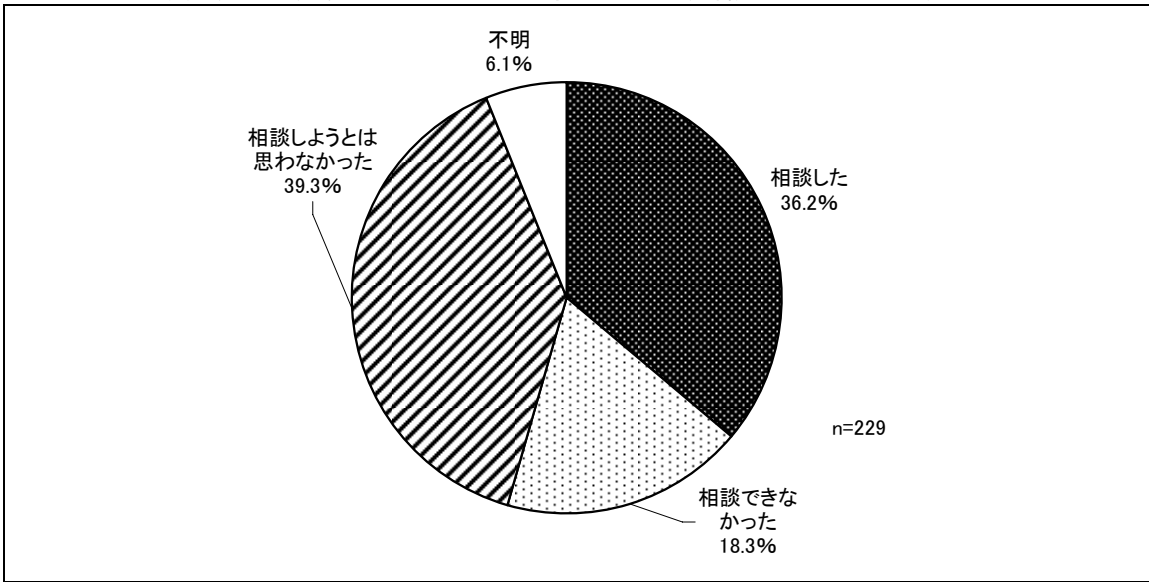


●配偶者・パートナー・恋人からされた行為についての相談

「相談しようとは思わなかった」が多い

配偶者・パートナー・恋人からされた行為を誰かに打ち明けたり、相談したりしたことについては、「相談した」が36.2%、『相談しなかった』（「相談しようとは思わなかった」と「相談できなかった」の合計）は57.6%となっています。

問 24-1. 問 24 のアからウのうち、1つでも「1」または「2」と答えた方（そうしたことがあったと答えた方）に伺います。あなたは、その行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。



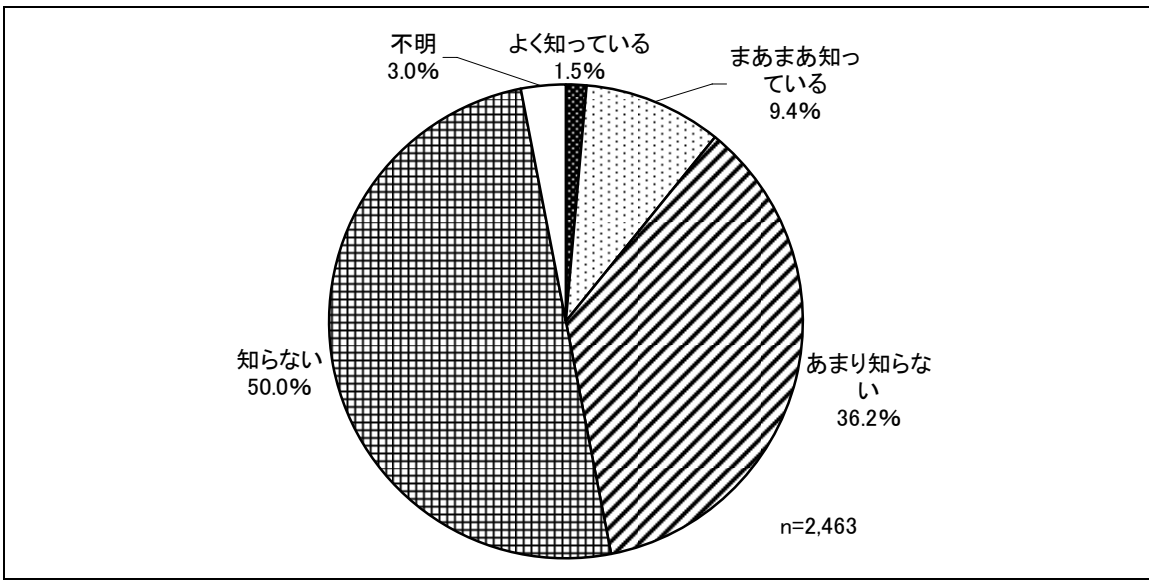
◇「自治基本条例の普及」「市民参加と協働によるまちづくり」について◇

●「越谷市自治基本条例」の認知

「知らない」が多い

「越谷市自治基本条例」については、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が約1割となっています。一方、『知らない』（「知らない」と「あまり知らない」の合計）は8割半ばとなっています。

問 25. 「越谷市自治基本条例」を知っていますか。

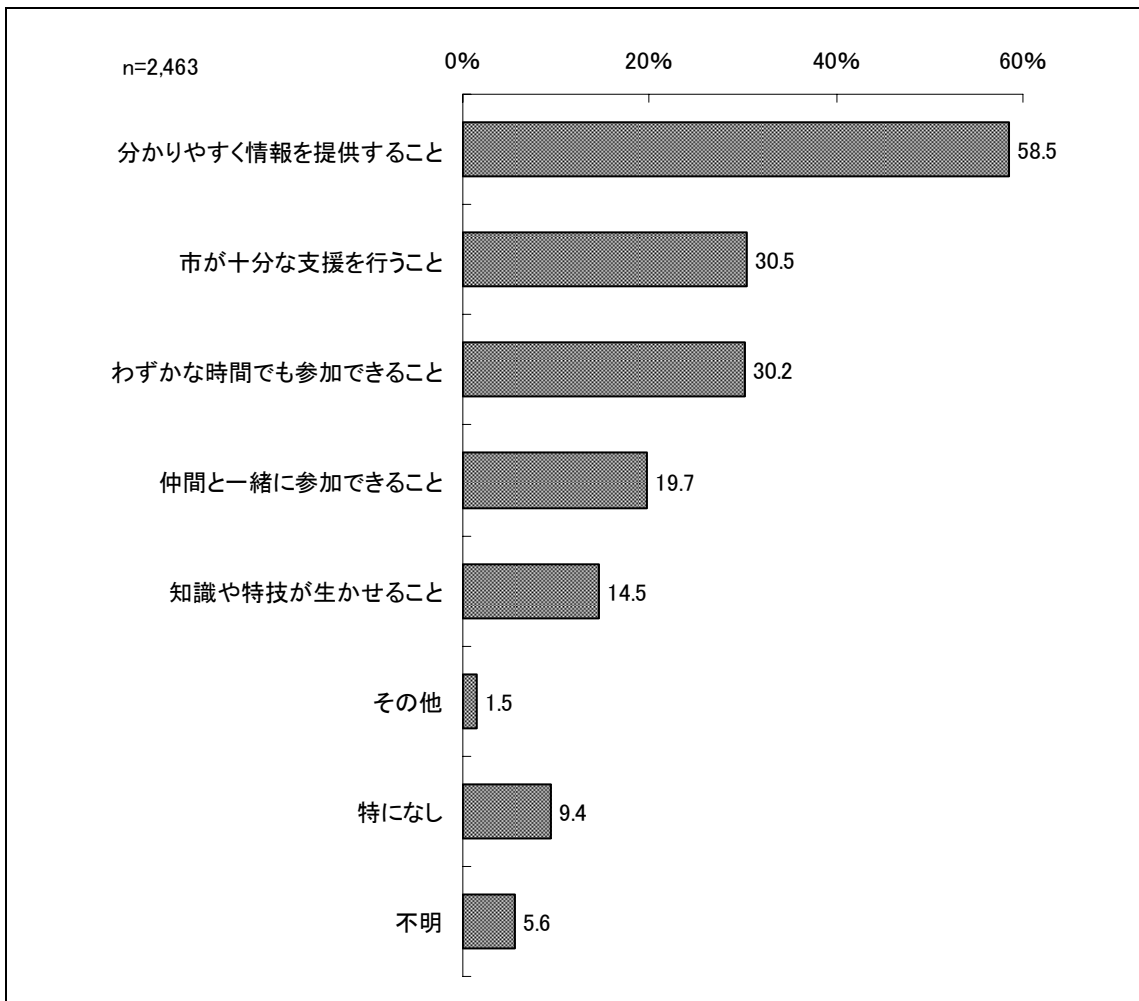


● 市政への参加やコミュニティ活動へのかかわりに重要なこと

「分かりやすく情報を提供すること」が多い

市政への参加やコミュニティ活動（地域活動・市民活動）へのかかわりに重要なことについては、「分かりやすく情報を提供すること」（58.5%）が最も多く、次いで「市が十分な支援を行うこと」（30.5%）、「わずかな時間でも参加できること」（30.2%）、「仲間と一緒に参加できること」（19.7%）となっています。

問28. 市政への参加やコミュニティ活動（地域活動・市民活動）へのかかわりに重要なことは、どのようなことだと思いますか。



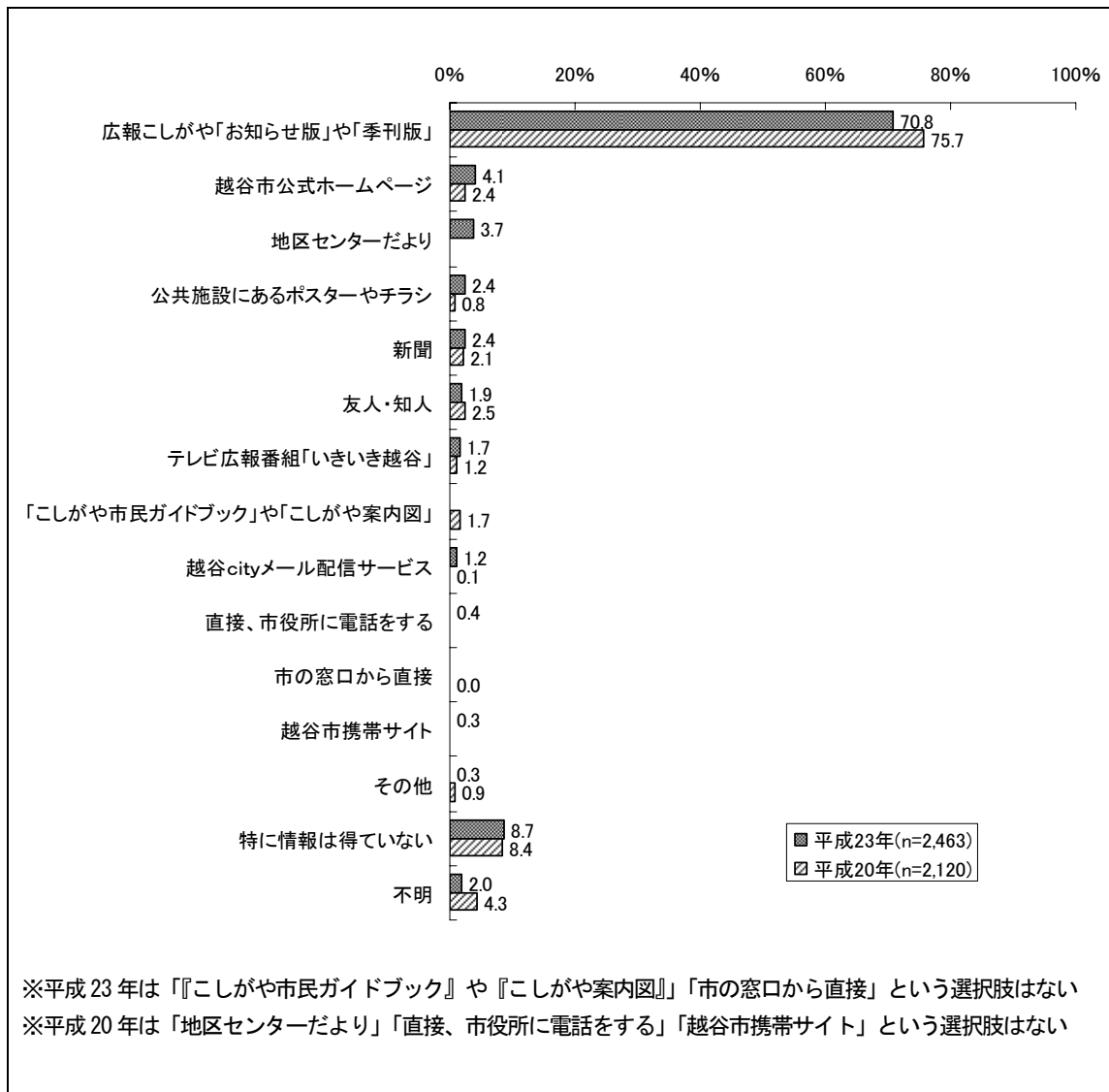
◇広報について◇

●市政情報を得ているもの

「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が多い

市政情報を得ているものについては、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が約7割を占めて最も多くなっています。なお、平成20年では、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」から市政情報を得ている割合は75.7%となっています。

問29. あなたは、市政情報を主に何から得ていますか。

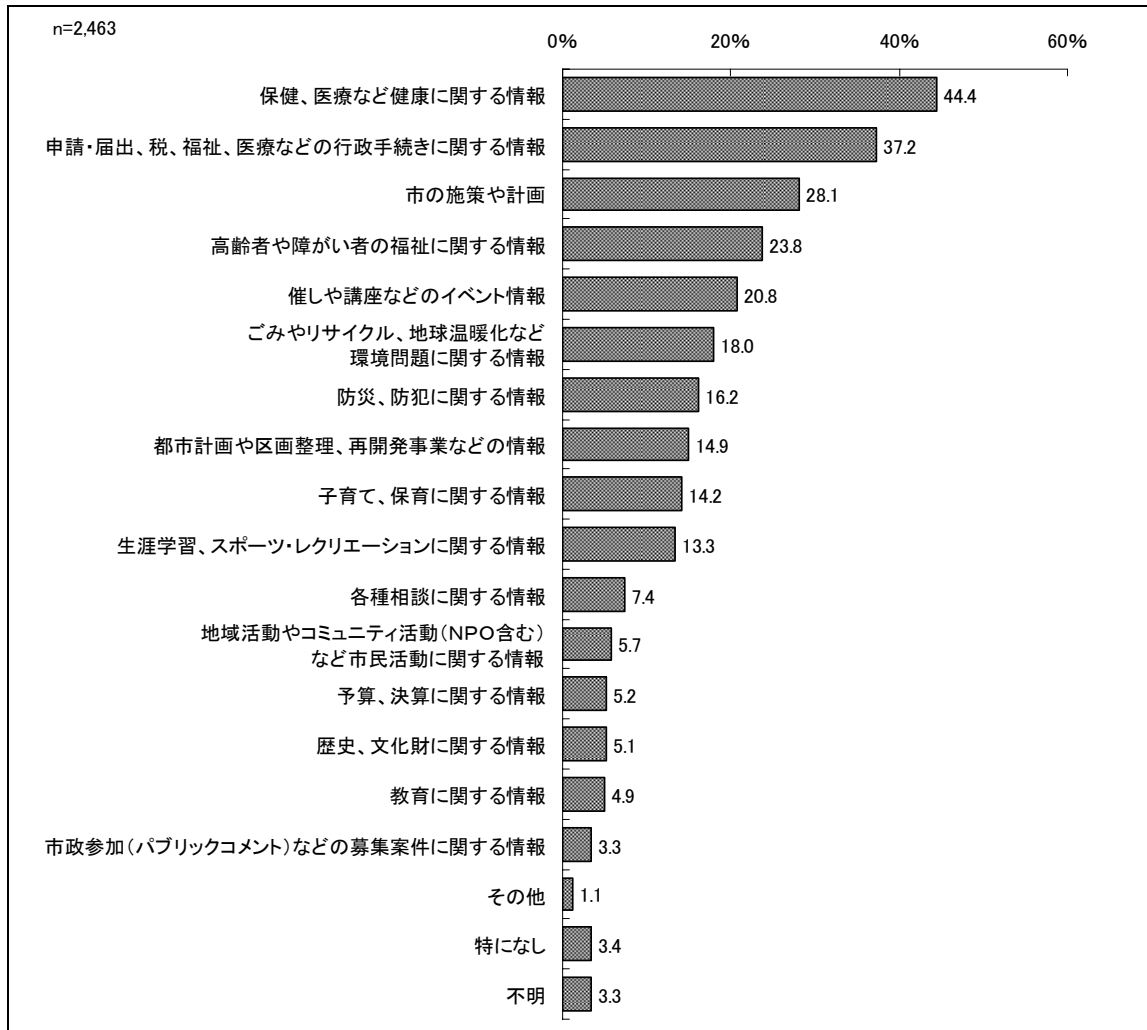


●広報こしがやから入手したい情報

「保健、医療など健康に関する情報」が多い

広報こしがやからどのような情報を入手したいかについては、「保健、医療など健康に関する情報」(44.4%)が最も多く、次いで「申請・届出、税、福祉、医療などの行政手続きに関する情報」(37.2%)、「市の施策や計画」(28.1%)、「高齢者や障がい者の福祉に関する情報」(23.8%)となっています。

問33. 皆さんに伺います。広報こしがやからどのような情報を入手したいですか。



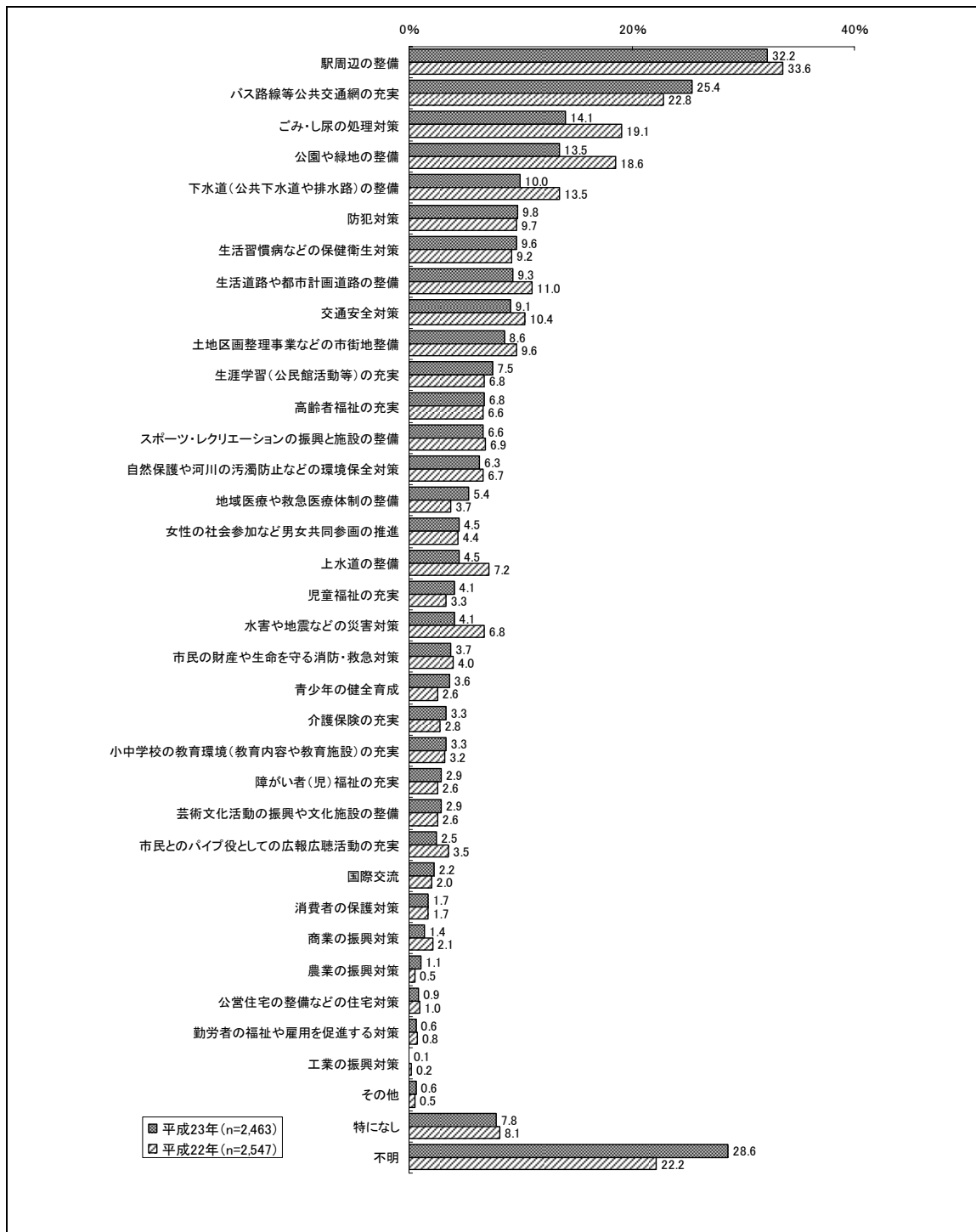
◇越谷市の施策について◇

●よくなってきたと感じるもの

「駅周辺の整備」が多い

市の施策に対して、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」について伺ったところ、「駅周辺の整備」(32.2%)が最も多く、次いで「バス路線等公共交通網の充実」(25.4%)、「ごみ・し尿の処理対策」(14.1%)、「公園や緑地の整備」(13.5%)となっています。前回調査と比較すると、上位項目の順位は変わらないが、「ごみ・し尿の処理対策」「公園や緑地の整備」がそれぞれ5.0、5.1ポイント減少しています。

問39. 市では様々な施策を進めていますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」を、次の中から5つまで選び、ご記入ください。



(%)

	調査数	1位	2位	3位
全体	2,463	駅周辺の整備 32.2	バス路線等公共交通網の充実 25.4	ごみ・し尿の処理対策 14.1
女性全体	1,294	駅周辺の整備 32.7	バス路線等公共交通網の充実 29.2	ごみ・し尿の処理対策 14.4
20歳代	115	駅周辺の整備 35.7	バス路線等公共交通網の充実 26.1	公園や緑地の整備 15.7
30歳代	208	駅周辺の整備 35.6	バス路線等公共交通網の充実 29.8	公園や緑地の整備 16.8
40歳代	187	駅周辺の整備 41.2	バス路線等公共交通網の充実 34.2	公園や緑地の整備 14.4
50歳代	198	駅周辺の整備、 バス路線等公共交通網の充実 35.9		公園や緑地の整備 14.1
60歳代	311	駅周辺の整備 30.5	バス路線等公共交通網の充実 28.3	ごみ・し尿の処理対策 21.2
70歳以上	273	駅周辺の整備 23.8	バス路線等公共交通網の充実 23.1	ごみ・し尿の処理対策 19.8
男性全体	1,066	駅周辺の整備 32.6	バス路線等公共交通網の充実 21.6	ごみ・し尿の処理対策 13.8
20歳代	89	駅周辺の整備 29.2	バス路線等公共交通網の充実 27.0	土地区画整理事業などの 市街地整備 14.6
30歳代	163	駅周辺の整備 28.2	バス路線等公共交通網の充実 16.6	土地区画整理事業などの市街地 整備、 交通安全対策、 公園や緑地の整備 12.3
40歳代	160	駅周辺の整備 45.0	バス路線等公共交通網の充実 24.4	公園や緑地の整備 15.0
50歳代	162	駅周辺の整備 34.6	バス路線等公共交通網の充実 23.5	公園や緑地の整備 17.9
60歳代	264	駅周辺の整備 32.2	バス路線等公共交通網の充実 20.1	下水道(公共下水道や排水路) の整備 15.2
70歳以上	226	駅周辺の整備 27.4	バス路線等公共交通網の充実 21.7	ごみ・し尿の処理対策 21.2

(%)

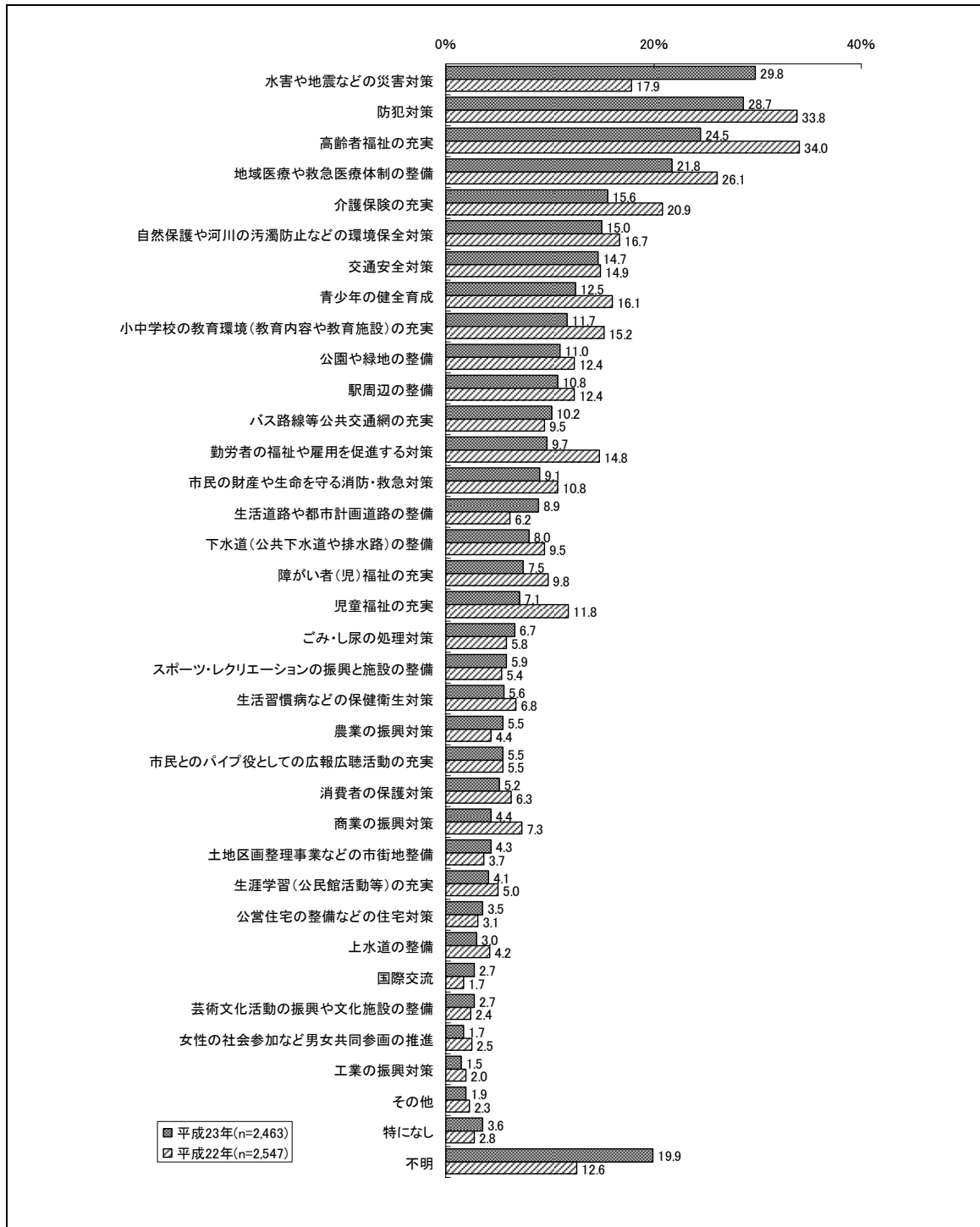
	調査数	1位	2位	3位
全体	2,463	駅周辺の整備 32.2	バス路線等公共交通網の充実 25.4	ごみ・し尿の処理対策 14.1
桜井地区	231	駅周辺の整備、 バス路線等公共交通網の充実 31.6		ごみ・し尿の処理対策 15.2
新方地区	108	バス路線等公共交通網の充実 39.8	駅周辺の整備 34.3	ごみ・し尿の処理対策 20.4
増林地区	140	バス路線等公共交通網の充実 45.0	駅周辺の整備 29.3	公園や緑地の整備 27.1
大袋地区	328	駅周辺の整備 33.2	バス路線等公共交通網の充実 17.4	ごみ・し尿の処理対策 14.3
荻島地区	79	駅周辺の整備 24.1	下水道(公共下水道や排水路) の整備 12.7	バス路線等公共交通網の充実、 ごみ・し尿の処理対策 11.4
出羽地区	181	バス路線等公共交通網の充実 32.6	駅周辺の整備 30.9	ごみ・し尿の処理対策 15.5
蒲生地区	300	駅周辺の整備 35.7	バス路線等公共交通網の充実 26.3	下水道(公共下水道や排水路) の整備 13.7
川柳地区	56	駅周辺の整備、 バス路線等公共交通網の充実 35.7		土地区画整理事業などの 市街地整備 12.5
大相模地区	128	駅周辺の整備 26.6	バス路線等公共交通網の充実 22.7	公園や緑地の整備 14.1
大沢地区	201	駅周辺の整備 36.8	バス路線等公共交通網の充実 20.4	ごみ・し尿の処理対策 17.4
北越谷地区	112	駅周辺の整備 37.5	生活習慣病などの保健衛生対策 16.1	下水道(公共下水道や排水路) の整備 14.3
越ヶ谷地区	340	駅周辺の整備 27.9	バス路線等公共交通網の充実 20.3	ごみ・し尿の処理対策 14.7
南越谷地区	225	駅周辺の整備 34.7	バス路線等公共交通網の充実 30.2	公園や緑地の整備 15.1

●特に力を入れるべきだと思われるもの

「水害や地震などの災害対策」が多い

市の施策に対して、今後、「特に力を入れるべきだと思われるもの」について伺ったところ、「水害や地震などの災害対策」(29.8%)が最も多く、次いで「防犯対策」(28.7%)、「高齢者福祉の充実」(24.5%)、「地域医療や救急医療体制の整備」(21.8%)となっています。前回調査と比較すると、前回5位だった「水害や地震などの災害対策」は11.9ポイント増えて今回は1位となっています。

問 39. 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中から5つまで選び、ご記入ください。



(%)

	調査数	1位	2位	3位
全体	2,463	水害や地震などの災害対策 29.8	防犯対策 28.7	高齢者福祉の充実 24.5
女性全体	1,294	水害や地震などの災害対策 31.3	防犯対策 27.1	高齢者福祉の充実 24.9
20歳代	115	防犯対策 31.3	水害や地震などの災害対策、 地域医療や救急医療体制の整備、 交通安全対策 20.9	
30歳代	208	防犯対策 36.1	水害や地震などの災害対策 30.8	小中学校の教育環境(教育内容 や教育施設)の充実 26.9
40歳代	187	防犯対策 36.9	水害や地震などの災害対策 33.7	小中学校の教育環境(教育内容 や教育施設)の充実 28.9
50歳代	198	水害や地震などの災害対策 37.9	地域医療や救急医療体制の 整備 31.8	高齢者福祉の充実 30.3
60歳代	311	水害や地震などの災害対策 34.7	高齢者福祉の充実 32.8	防犯対策 28.0
70歳以上	273	高齢者福祉の充実 30.8	水害や地震などの災害対策 26.0	介護保険の充実 20.1
男性全体	1,066	防犯対策 31.2	水害や地震などの災害対策 28.1	高齢者福祉の充実 24.1
20歳代	89	防犯対策 24.7	水害や地震などの災害対策 22.5	自然保護や河川の汚濁防止など の環境保全対策、 交通安全対策 21.3
30歳代	163	防犯対策 36.8	水害や地震などの災害対策 25.8	地域医療や救急医療体制の 整備 22.1
40歳代	160	防犯対策 41.9	水害や地震などの災害対策 29.4	地域医療や救急医療体制の 整備 22.5
50歳代	162	防犯対策 27.8	高齢者福祉の充実 27.2	水害や地震などの災害対策 25.9
60歳代	264	防犯対策 31.8	高齢者福祉の充実 30.7	水害や地震などの災害対策 28.0
70歳以上	226	水害や地震などの災害対策 33.2	高齢者福祉の充実 28.3	防犯対策 23.9

(%)

	調査数	1位	2位	3位
全 体	2,463	水害や地震などの災害対策 29.8	防犯対策 28.7	高齢者福祉の充実 24.5
桜井地区	231	水害や地震などの災害対策 36.4	高齢者福祉の充実 32.5	防犯対策 29.0
新方地区	108	水害や地震などの災害対策 39.8	防犯対策 26.9	地域医療や救急医療体制の整備 25.9
増林地区	140	水害や地震などの災害対策 36.4	高齢者福祉の充実 27.9	防犯対策 26.4
大袋地区	328	水害や地震などの災害対策 27.1	防犯対策 25.6	高齢者福祉の充実 22.0
荻島地区	79	水害や地震などの災害対策 31.6	防犯対策 26.6	交通安全対策 20.3
出羽地区	181	水害や地震などの災害対策 34.3	防犯対策 28.7	高齢者福祉の充実 26.5
蒲生地区	300	防犯対策 29.3	水害や地震などの災害対策 26.7	高齢者福祉の充実 24.7
川柳地区	56	高齢者福祉の充実 30.4	下水道(公共下水道や排水路)の整備 23.2	地域医療や救急医療体制の整備、 小中学校の教育環境(教育内容や教育施設)の充実 19.6
大相模地区	128	水害や地震などの災害対策 29.7	防犯対策 28.1	高齢者福祉の充実 24.2
大沢地区	201	水害や地震などの災害対策 32.3	防犯対策 28.9	高齢者福祉の充実 25.9
北越谷地区	112	防犯対策 39.3	水害や地震などの災害対策 26.8	高齢者福祉の充実、 地域医療や救急医療体制の整備 25.9
越ヶ谷地区	340	防犯対策 26.5	水害や地震などの災害対策 25.6	高齢者福祉の充実 19.7
南越谷地区	225	防犯対策 35.6	水害や地震などの災害対策 28.9	高齢者福祉の充実 24.9